

至誠プロジェクト『しろがね』

生野中学校 学校運営協議会 会報

令和5年2月1日発行

創刊号

会長 小田 正儀

◇創刊号の発刊に向けて◇

生野中学校学校運営協議会では、この制度が発足して3年目を終えようとしています。そこで、保護者や地域の方にこの協議会のことを認知していただくとともに活動内容の紹介等をお知らせしていくことを目的に、この会報を発刊する運びとなりました。

つきましては、学校運営へのご意見やご支援等がありましたら、どしどし学校又は委員へご連絡ください。よろしくお願いいたします。

◇タイトル「しろがね」の由来◇

運営委員が3つのチームに分かれ「至誠」という校訓に向かってプロジェクトチームを編成し、それぞれのチームが目標達成に向けた取組をしています。このチーム名をタイトルに入れ、校歌の2番の歌詞にある「しろがねの花咲くところ」から引用しました。

= 令和4年度 学校運営協議会委員の紹介 =

小田 正儀(会長)	区長会代表	松本みゆき(副会長)	中学校同窓会代表
佐竹 英文	保護司代表	足立 美喜	地域コーディネーター
石井 二郎	主任児童委員代表	三木 強	人権擁護委員代表
足立 孝文	PTA 代表	石田 将司	地元警察代表

「至誠」育成プロジェクトチーム

まごころ教育チーム

代表者(小田 正儀)



メンバー

- ・体験学習 (小田 正儀:学校)
- ・ボランティア活動 (小田 正儀)
- 【19(生野)の日】 (佐竹 英文)
- ・清掃活動 (三木 強)
- ・花、野菜づくり等
- ・ふれあい授業
- ・その他

- ・自治協との交流、情報提供
- ・消防署等との連携

学習支援・学力向上チーム

代表者(松本 みゆき)



メンバー

- ・放課後学習会
- ・学校行事への参加
- ・調理実習補助
- ・校外学習付き添い
- ・図書ボランティア
- ・部活動指導補助
- ・その他

- (松本 美:学校)
- (松本 みゆき)
- (足立 孝文)
- (足立 美喜)

- ・例えば放課後や3年生の受験前に学習会を開催し補助指導
- ・体育祭、文化祭、講演会等への参加
- ・部活動への指導補助

環境・安全チーム

代表者(石井 二郎)



メンバー

- ・見守り隊活動 (木下 卓義:学校)
- ・あいさつ運動 (石田 将司)
- (小・中合同) (石井 二郎)
- ・その他

- ・派出所の方に入っていたりシルバー人材の方に掃除の仕方を教えていたりすることできる
- ・小学校の見守り隊との連携も考えられる
- ・生徒の通学時、在宅の方が、家から出るだけでもいいのではないかと
- ・110当番の家を生徒に周知
- ・一斉下校時に110番の家見つけをするのもいい

協力依頼団体等

- 自治協
- シルバー
- 見守り隊
- 派出所
- スポーツ団体
- 調理等
- 何かの技術に長けた方

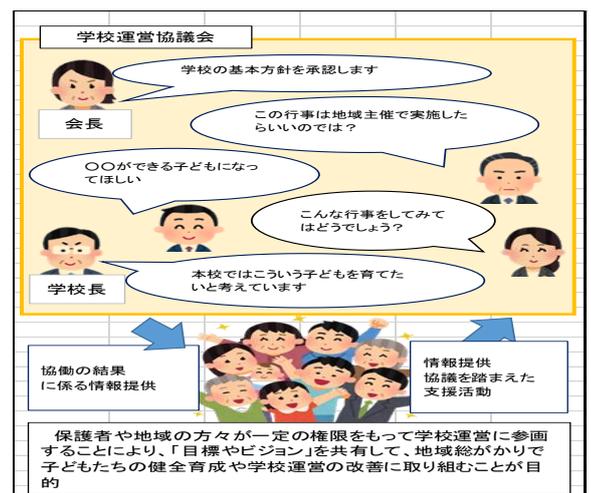


◇学校運営協議会とは何?◇

学校運営協議会制度とは、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」へ転換を図るための仕組みです。

この制度を令和2年度に発足して、本年度が3年目となります。

市内小・中学校全13校が、この協議会(コミュニティスクール)を立ち上げて取り組んでいます。



【活動報告】

『19（生野）の日に参加して』

石井 二郎

生徒会が主体となって、毎月19日を「19（生野）の日」として、ボランティア活動を実施しようと昨年度から行っています。



学校行事や曜日の関係から、19日前後に実施されることもありますが、放課後に地域に出向いて、地域の方との交流や奉仕作業を生徒会活動として行っています。

放課後、希望した生徒たちが、3つのグループに分かれて学校周辺のゴミ拾いを中心としたボランティア活動を行います。手には軍手をはめ、火ばさみを片手にグループごとにゴミ袋を持って出発します。車道に出ると広がらずに一列でゴミを拾いながら目的地に向かいます。

中学校から往復30分の活動です。ゴミを拾っている生徒を見かけた地域の方が、「ご苦労さん、ありがとう」と声を掛けてくださると、生徒たちも笑顔で「ありがとうございます」と応えています。

素直で元気な生徒たちで、学校は明るい雰囲気ですが、そのような子どもたちにも様々な問題が起こってくる可能性があります。家族はもちろん、近隣、地域の方々との関わりが大切だと思います。

生野中学校の生徒数は少なくなっていますが、一人一人に向き合えるという小規模校ならではの教育があります。先生方と共に地域住民も生徒たちを見守り、応援することが出来れば素晴らしいことだと思います。



『ふるさと学習 生野町伝統行事「生野盆踊り」』

松本 みゆき

昨年度と本年度と2年続けて「生野踊り」の講習会を経て習得し、成果を体育祭にて発表することができました。

ふるさと学習として、伝統文化だとは気づきにくい、当たり前の年間行事として捉えていた「生野踊り」を学習することのサポートに取り組みました。講師に町内在住の方にお願ひし、成り立ち、歴史、地域での取り組み等を伝えました。体育祭では鳴り物として、尺八、三味線、たいこ、鐘、くどきの生演奏も地域の方が協力し、共に披露することができました。



ふるさと生野に愛着と誇りを持ち、将来生野の発展に貢献できる人づくりをめざすため、ふるさと生野の豊かな自然や伝統・文化、そこに暮らしている人々とのつながりを大切に、次代を担う人材育成を目指しています。

子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子どもたちを育成するためには、地域総がかりでの教育の実現が不可欠と考えます。ご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

